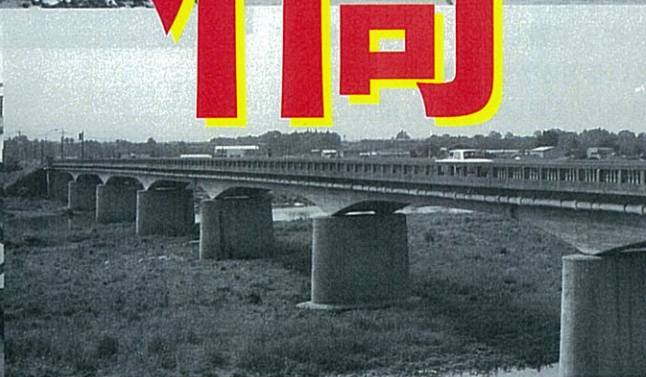




写真で綴る狭山の 橋



平成 20 年 3 月 15 日(土)～6 月 8 日(日)
狭山市立博物館

〒350-1324 埼玉県狭山市稲荷山 1-23-1 (狭山稲荷山公園内)

電話：04-2955-3804 FAX：04-2955-3811

<http://www.city.sayama.saitama.jp/museum/>

- ◇西武池袋線「稲荷山公園駅」より徒歩3分
- ◇西武新宿線「狭山市駅」西口よりバス
「稲荷山公園駅」終点で下車、徒歩3分
- ◇圏央道狭山日高インターより車で15分
- ご来館は電車・バスのご利用が便利です。

■休館日：3月17・21・24・28日
4月14・21・25・28・30日
5月7・12・19・23・26日
6月2日

■開館時間：9時～17時(入館は16時30分まで)
■入館料：一般 150円(100円)
高・大生 100円(60円)
小・中生 50円(30円)
()内は20名以上の団体料金

2100



開催にあたって

本四連絡橋の開通により四国と本州の距離が縮まったことは記憶に新しいところです。当市は市域の中央やや北よりに入間川が、南部には不老川がそれぞれ市を分断するかのよう流れにあり、またこの川に平行に小河川がいくつも流れています。このため、橋がたくさん架かっています。当市では平成16年に入間川に架かる11番目の「いるまがわ大橋」が完成しました。

川は土地を分断し、分断された土地は、独自の歩みをします。それはその土地の風土といえるでしょう。物流で見ると川は、流れに沿っては大動脈となりますが、いざ横切るとなると物流の流れを阻害する大きな要因になります。

橋ができる前は、入間川では渡しがありました。渡しは天候や時間に左右され、天気が悪いと物資は停滞します。橋と渡し船との違いは、橋を「渡る人が渡ろうと意志決定をしたらいつでも誰の手を借りることなく渡れるもの」と定義すれば自ずと明らかになります。

橋の建設は、川が大きくなるに従って難しくなります。橋を造ると計画してから完成まで長い年月がかかります。

今回の企画展では、狭山市の橋を今は無い木橋から現代の橋までを写真資料でご覧頂きます。あわせて橋をつくる過程を写真資料で再現します。

最後になりましたが、本企画展の開催にあたり、ご協力頂きました関係各位に厚くお礼申し上げます、開催のごあいさついたします。

平成20年3月 狭山市立博物館

講演会

「橋をつくる」

日時：4/20(日) 13時30分～15時

講師：国土交通省国土技術政策総合研究所職員

申込み：3/19日(水) 9時より、お電話で受け付けます。

工作会

昔、木でできた橋があった…工作会「木の橋をつくる」

日時：5/25(日) ①9時30分 ②13時30分

講師：「工作教室 MOONBASE」代表 月野俊介氏

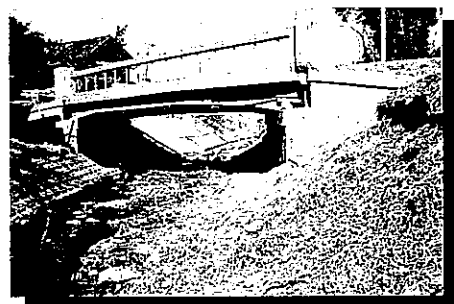
参加費あり 申込み：4/24(木)9時より、お電話で受け付けます。



くずはき橋



逆川橋



権現橋



- ◇西武池袋線「稲荷山公園駅」より徒歩3分
- ◇西武新宿線「狭山市駅」西口よりバス「稲荷山公園駅行」終点で下車、徒歩3分
- ◇圏央道狭山日高インターより車で15分
- ご来館は電車・バスのご利用が便利です。

●開館時間：9時～17時
(入館は16時30分まで)

●入館料：一般150円(100円)
高校生・大学生100円(60円)
小学生・中学生 50円(30円)
()内は20名以上の団体料金

狭山市立博物館

〒350-1324 埼玉県狭山市稲荷山1-23-1(狭山稲荷山公園内)
TEL (04) 2955-3804 FAX (04) 2955-3811
<http://www.city.sayama.saitama.jp/museum/>